



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 双葉電子工業株式会社

コード番号 6986 URL <http://www.futaba.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 桜田 弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経営企画部長

(氏名) 池田 達也

TEL 0475-26-0160

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

配当支払開始予定日

平成26年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	34,385	10.9	1,036	18.8	2,133	29.9	1,178	28.6
26年3月期第2四半期	30,995	5.7	872	—	1,642	—	916	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 5,889百万円 (36.3%) 26年3月期第2四半期 4,320百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	26.52	—
26年3月期第2四半期	20.63	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第2四半期	156,758		141,351		84.1	
26年3月期	150,859		137,035		85.1	

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 131,862百万円 26年3月期 128,332百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	12.00	—	14.00	26.00
27年3月期	—	13.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,700	8.3	2,500	12.8	3,700	△2.3	1,500	△16.5	33.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、[添付資料]3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	45,886,739 株	26年3月期	45,886,739 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	1,463,977 株	26年3月期	1,463,257 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	44,423,321 株	26年3月期2Q	44,424,607 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて算出しており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、当社製品の需給の急速な変動、米ドルを中心とした対円為替相場の変動および日本の証券・株式相場の変動など様々な要因により異なる場合があり得ることをご承知おきください。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では景気拡大基調が継続しており、アジア地域では、中国やアセアン諸国で輸出が持ち直したことから、総じて回復基調となりました。

国内経済は、各種政策の効果などから企業収益に改善の兆しがみられ、雇用・所得環境も改善が続くなど緩やかな回復が続いているものの、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化や海外景気の下振れリスクもあることから、依然として先行き不透明な環境が続いています。

このような状況のなか、当社グループは、電子部品事業では、ウェアラブル製品向けフィルムタイプ有機ELディスプレイや車載用ヘッドアップディスプレイの販売拡大に注力しました。

また、三光合成株式会社と資本業務提携契約を締結し、生産器材事業において金型・成形関連事業の強化をはかってまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は343億8千5百万円(前年同期比10.9%増)となりました。このうち海外売上高は202億1千6百万円(前年同期比14.1%増)となり、国内売上高は141億6千9百万円(前年同期比6.7%増)となりました。

収益面では、営業利益は10億3千6百万円(前年同期比18.8%増)、経常利益は為替差益6億8千9百万円を計上したことなどから、21億3千3百万円(前年同期比29.9%増)、四半期純利益は11億7千8百万円(前年同期比28.6%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 電子部品事業

蛍光表示管につきましては、音響用途は前年同期並みとなりましたが、主力である車載用途が消費税率引上げによる国内新車販売台数の減少などの影響により低迷したことから、売上げは前年同期を下回りました。

蛍光表示管モジュールは、主力であるPOS用途が好調であったことから、売上げは前年同期を上回りました。

有機ELディスプレイは、前期に本格参入した車載用途および通信機器用途が大幅に増加し、売上げは前年同期を上回りました。

また、タッチパネルは、車載用途が順調であったことから、売上げは前年同期を上回りました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は125億2千8百万円(前年同期比6.9%増)となりました。

#### ② 電子機器事業

ホビー用ラジコン機器につきましては、カー用プロポの高級機である「4PX」や模型飛行機スカイリーフの最新モデルを投入したことに加え、欧米市場が回復したことから売上げは前年同期を上回りました。

産業用ラジコン機器は、トラッククレーン向けのテレコントロール製品の需要が堅調であったことなどから、売上げは前年同期を上回りました。

ロボット用機能部品は、大手パートワーク(分冊百科)販売会社に供給しているコマンド方式サーボモーターを海外でも販売したものの、売上げは前年同期並みとなりました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は51億8百万円(前年同期比17.0%増)となりました。

#### ③ 生産器材事業

プレスおよびモールド金型用部品、プレジジョンプレートなどにつきましては、海外では、韓国はスマートフォン向けが堅調に推移し、中国も緩やかに持ち直したことから、売上げは前年同期を上回りました。

国内においても、プレート事業の製品ラインアップの見直しや価格改定などの施策を実施した結果、売上げは前年同期を上回りました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は167億4千8百万円(前年同期比12.3%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が減少したものの、有形固定資産や投資有価証券の増加などにより、前連結会計年度末に比べ58億9千9百万円増加し1,567億5千8百万円となりました。

負債は、退職給付に係る負債や支払手形及び買掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ15億8千2百万円増加し154億6百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定やその他有価証券評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ43億1千6百万円増加し1,413億5千1百万円となりました。この結果、自己資本比率は84.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、平成26年5月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(平成26年11月7日)公表の「第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異、通期連結業績予想の修正および営業外収益の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が699百万円増加し、利益剰余金が699百万円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	60,160	58,355
受取手形及び売掛金	18,007	19,003
有価証券	6,463	6,196
商品及び製品	3,970	4,440
仕掛品	2,734	2,968
原材料及び貯蔵品	6,350	6,977
その他	1,231	1,258
貸倒引当金	△195	△254
流動資産合計	98,722	98,946
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,115	13,594
機械装置及び運搬具(純額)	10,301	10,315
工具、器具及び備品(純額)	723	788
土地	16,533	17,641
リース資産(純額)	111	101
建設仮勘定	1,774	2,997
有形固定資産合計	42,559	45,439
無形固定資産		
投資その他の資産	1,101	1,154
投資有価証券	7,067	9,685
その他	1,507	1,683
貸倒引当金	△99	△150
投資その他の資産合計	8,475	11,218
固定資産合計	52,136	57,812
資産合計	150,859	156,758

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,828	5,365
短期借入金	15	7
未払費用	2,543	2,496
未払法人税等	574	450
賞与引当金	1,223	1,165
その他	1,398	1,576
流動負債合計	10,583	11,062
固定負債		
役員退職慰労引当金	40	52
退職給付に係る負債	1,906	2,645
その他	1,293	1,646
固定負債合計	3,240	4,343
負債合計	13,824	15,406
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,558	22,558
資本剰余金	21,594	21,594
利益剰余金	90,802	90,659
自己株式	△3,278	△3,279
株主資本合計	131,677	131,532
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	703	1,461
為替換算調整勘定	△4,739	△1,735
退職給付に係る調整累計額	690	603
その他の包括利益累計額合計	△3,345	329
少数株主持分	8,702	9,489
純資産合計	137,035	141,351
負債純資産合計	150,859	156,758

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	30,995	34,385
売上原価	24,760	27,410
売上総利益	6,234	6,974
販売費及び一般管理費	5,362	5,937
営業利益	872	1,036
営業外収益		
受取利息	193	168
為替差益	266	689
その他	410	291
営業外収益合計	870	1,149
営業外費用		
有価証券評価損	71	—
固定資産解体撤去費用	2	18
その他	25	34
営業外費用合計	100	52
経常利益	1,642	2,133
特別利益		
固定資産売却益	45	12
特別利益合計	45	12
特別損失		
固定資産売却損	0	31
固定資産廃棄損	40	17
減損損失	2	—
特別退職金	45	—
特別損失合計	89	48
税金等調整前四半期純利益	1,598	2,097
法人税、住民税及び事業税	467	455
法人税等調整額	△133	80
法人税等合計	333	535
少数株主損益調整前四半期純利益	1,264	1,561
少数株主利益	348	383
四半期純利益	916	1,178



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,264	1,561
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	548	779
為替換算調整勘定	2,507	3,634
退職給付に係る調整額	—	△86
その他の包括利益合計	3,055	4,327
四半期包括利益	4,320	5,889
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,506	4,853
少数株主に係る四半期包括利益	813	1,036

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,598	2,097
減価償却費	1,722	1,892
減損損失	2	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	94
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	19	10
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△400	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	660
賞与引当金の増減額(△は減少)	295	△69
受取利息及び受取配当金	△268	△267
為替差損益(△は益)	△248	△155
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	△3	36
有価証券評価損益(△は益)	71	—
特別退職金	45	—
売上債権の増減額(△は増加)	780	△483
たな卸資産の増減額(△は増加)	461	△641
仕入債務の増減額(△は減少)	64	△37
その他	△421	△854
小計	3,715	2,281
利息及び配当金の受取額	293	299
利息の支払額	△9	△1
特別退職金の支払額	△555	—
転進支援費用の支払額	△2,802	—
法人税等の支払額	△471	△609
法人税等の還付額	27	7
営業活動によるキャッシュ・フロー	197	1,977
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△21,710	△16,479
定期預金の払戻による収入	22,528	15,969
有価証券の売却及び償還による収入	206	207
有形固定資産の取得による支出	△2,295	△3,026
有形固定資産の売却による収入	130	30
投資有価証券の取得による支出	—	△1,647
投資有価証券の売却及び償還による収入	100	300
貸付けによる支出	△5	△9
貸付金の回収による収入	9	9
その他	△28	△181
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,064	△4,825

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△7	△7
配当金の支払額	△444	△621
少数株主への配当金の支払額	△214	△243
リース債務の返済による支出	△18	△20
その他	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△686	△894
現金及び現金同等物に係る換算差額	873	742
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△679	△2,999
現金及び現金同等物の期首残高	42,552	45,224
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,872	42,225

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子部品	電子機器	生産器材	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,722	4,365	14,908	30,995	—	30,995
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	2	0	6	△6	—
計	11,725	4,367	14,908	31,001	△6	30,995
セグメント利益又は 損失(△)	△994	871	995	873	△0	872

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子部品	電子機器	生産器材	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,528	5,108	16,748	34,385	—	34,385
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	0	—	2	△2	—
計	12,530	5,108	16,748	34,387	△2	34,385
セグメント利益又は 損失(△)	△1,444	1,123	1,356	1,036	△0	1,036

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。